

追加版設定マニュアル

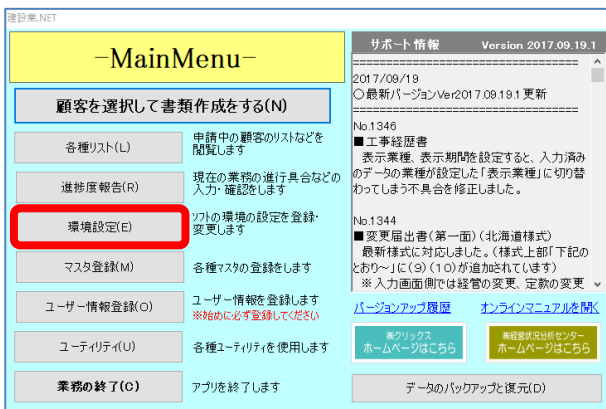
■建設業.NET を複数台（親機と子機）

で使用する場合の設定

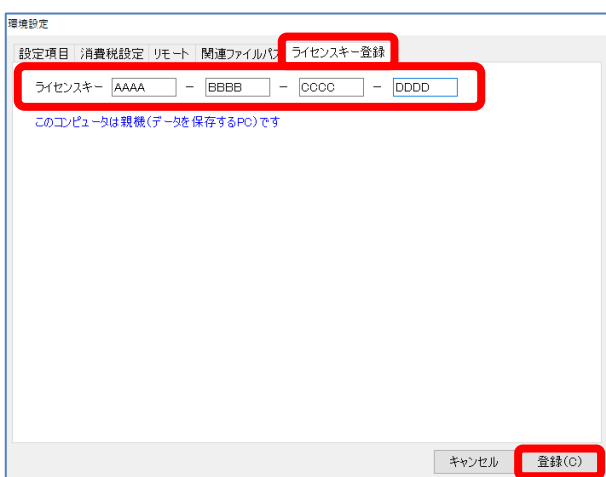
建設業.NET の追加版をご購入いただくと、データを共有して複数台でご利用することが可能になります。【親機】と【子機】としてご利用いただくために、共有の設定を行なう必要があります。

1.親機と子機の共有設定

【親機】の設定



(1) 親機の【建設業】.NETの「メインメニュー」の「環境設定」をクリックします。

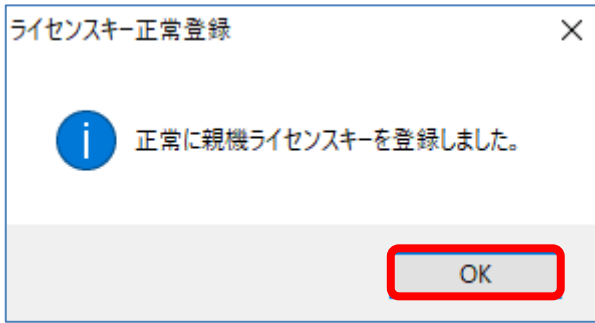


(2) 「ライセンスキー登録」タブを選択し、『ライセンスキー』に親機のライセンスキーが入力されていることを確認してください。

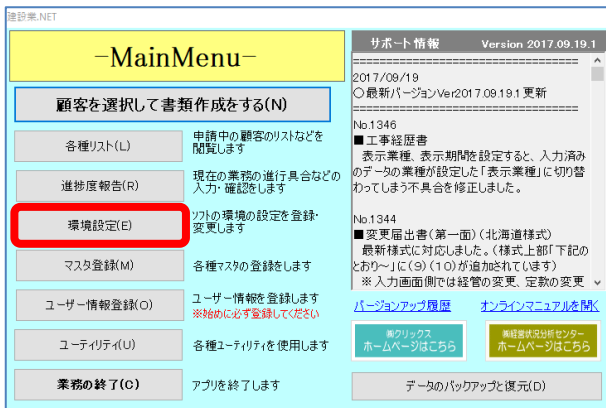
未入力の場合は親機のライセンスキーを入力して、「登録」をクリックします。

※ライセンスキーは、半角英数字 16 桁です。

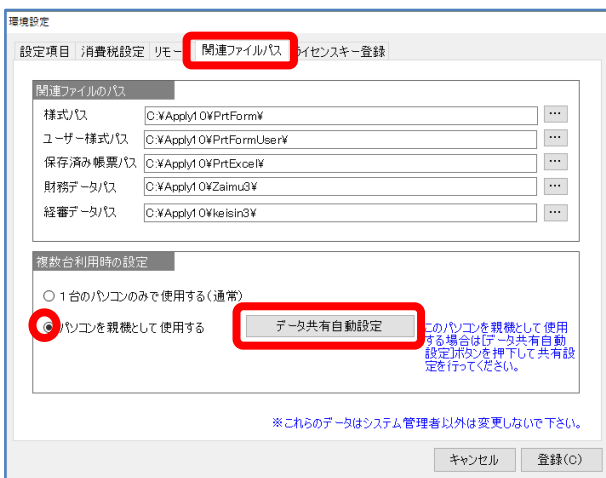
※左図では例として、親機のライセンスキーを『AAAA-BBBB-CCCC-DDDD』にしています。



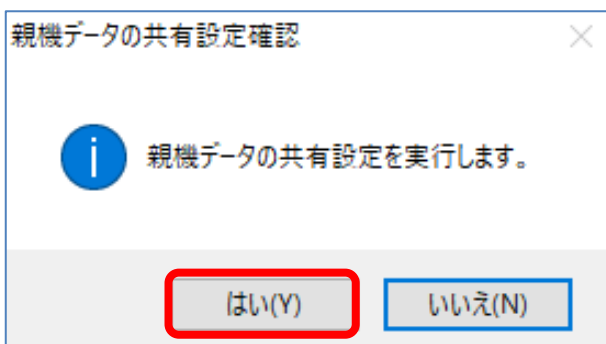
- (3) ライセンスキーが未入力だった場合は、正常登録画面が表示されます。
[OK] をクリックします。
登録済の場合は、(4) にすすみます。



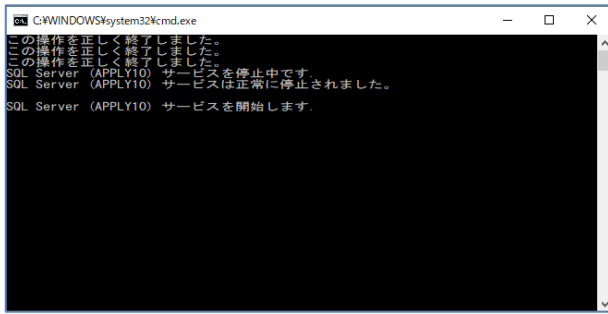
- (4) 「メインメニュー」に戻ります。再度、[環境設定] をクリックします。



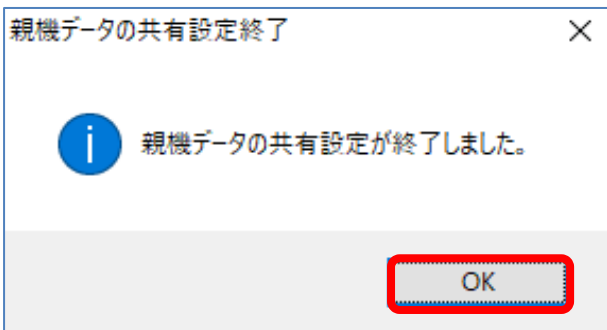
- (5) 「関連ファイルパス」タブを選択し、『パソコンを親機にして使用する』にチェックを入れ、[データ共有自動設定] をクリックします。



- (6) 親機データの共有設定確認画面を表示します。
[はい] をクリックします。



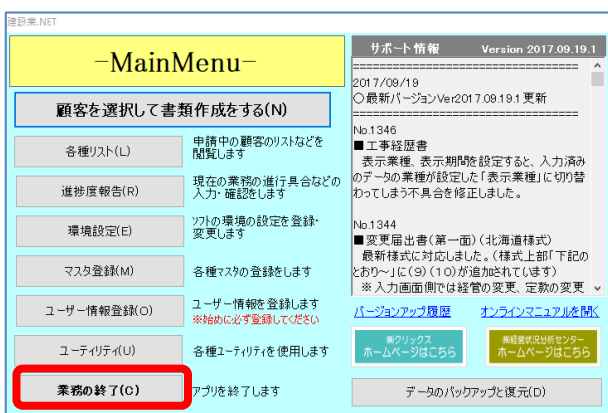
(7) 自動処理が始まりますので終了するまでしばらくお待ちください。



(8) 自動処理が終わると、親機データの共有設定終了画面が表示されます。
[OK] をクリックします。



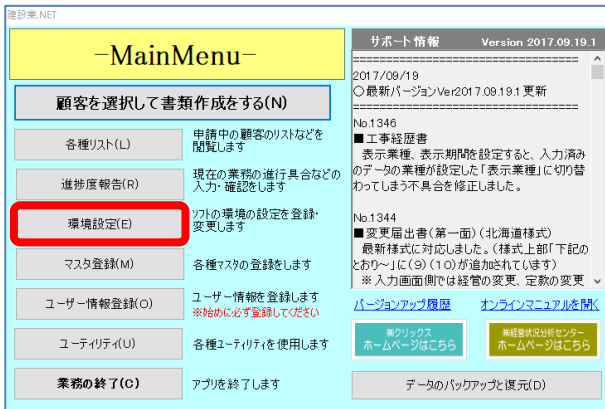
(9) 環境設定の「関連ファイルパス」画面に戻ります。
[登録] をクリックします。



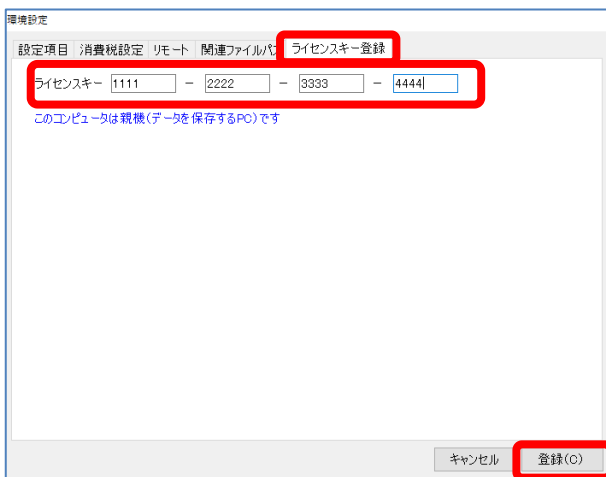
(10) [業務の終了] をクリックし、終了します。

【親機】の設定は以上です。

【子機】の設定



- (1) 子機の【建設業】クラウドの「メインメニュー」の[環境設定]をクリックします。

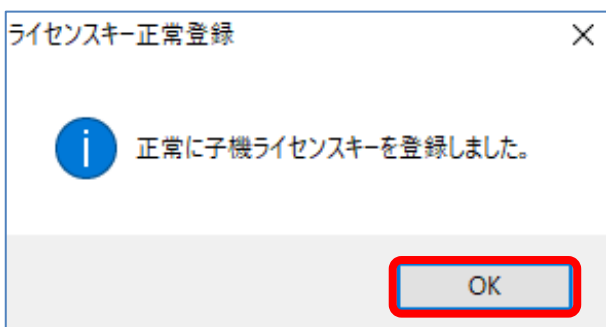


- (2) 「ライセンスキー登録」タブを選択し、『ライセンスキー』に子機のライセンスキーが入力されていることを確認してください。

未入力の場合は子機のライセンスキーを入力して、[登録]をクリックします。

※ライセンスキーは、半角英数字 16 桁です。

※左図では例として、親機のライセンスキーを『1111-2222-3333-4444』にしています。



- (3) [OK] をクリックします。

環境設定

設定項目 消費税設定 リポート **関連ファイルパス** ライセンスキー登録

関連ファイルのパス

様式パス	C:\Apply1\0VPrfForm*	...
ユーザー様式パス	C:\Apply1\0VPrfForm\User*	...
保存済み帳票パス	C:\Apply1\0VPrfExcel*	...
財務データベース	\\\\Apply1\0VZaimu3*	...
経審データベース	\\\\Apply1\0Vkeisin3*	...

複数台利用時の設定

パソコンを子機として使用する DB接続先: severid

このパソコンを子機として使用する場合はサーバ名欄に親機のコンピュータ名を入力してください。

※これらのデータはシステム管理者以外には変更しないで下さい。

キャンセル **登録(C)**

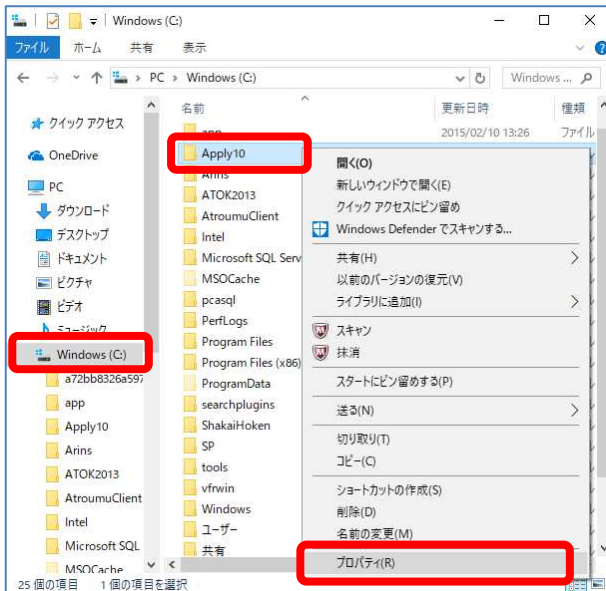
- (4) 「関連ファイルパス」タブを選択し、『パソコンを子機として使用する』にチェックを入れ、{DB 接続先} に親機のコンピュータ名を入力します。

※左図では例として、親機のコンピュータ名を『sever』にしています。

【子機】の設定は以上です。

※【親機】・【子機】の設定を行っても、
子機で〔財務諸表〕や〔シミュレーション〕が起動しない場合、
追加で下記の作業を行なってください。

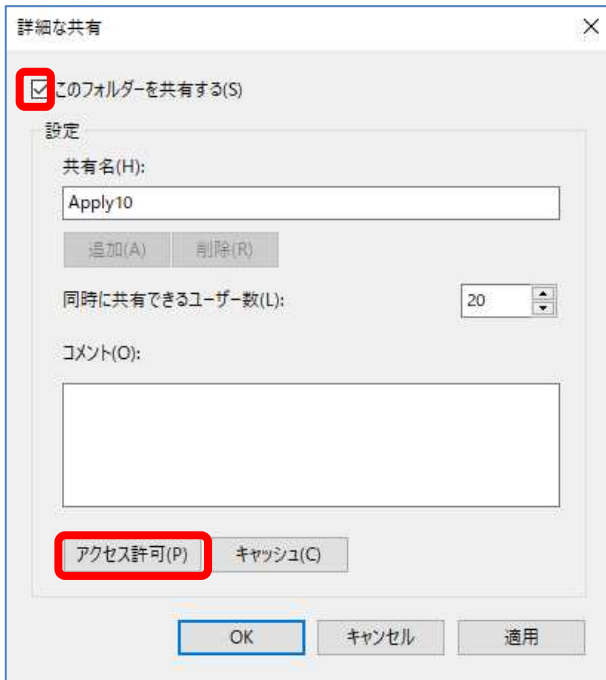
親機で「Apply10」フォルダの共有設定を行ないます。



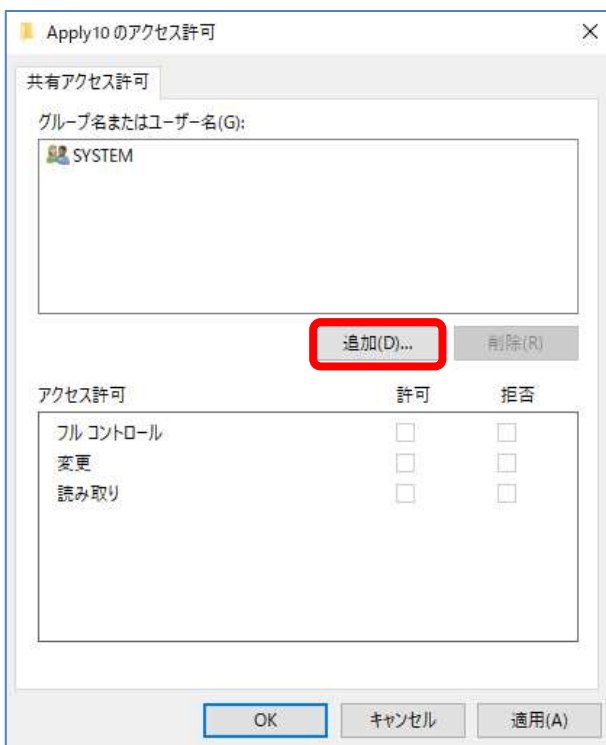
- (1) 親機のパソコンのエクスプローラーを立ち上げます。
「Cドライブ（Windows(C:)、もしくはOS Cなどと表示されます）」をクリックしてください。
Cドライブの中にある「Apply10」フォルダにカーソルをあて、右クリックして〔プロパティ〕を選択します。



- (2) Apply10 のプロパティ画面を表示します。
「共有」タブを選択し、〔詳細な共有〕をクリックします。



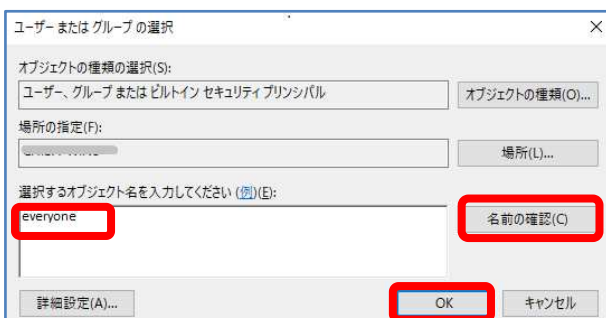
- (3) 『このフォルダを共有する』にチェックを付け、[アクセス許可] をクリックします。



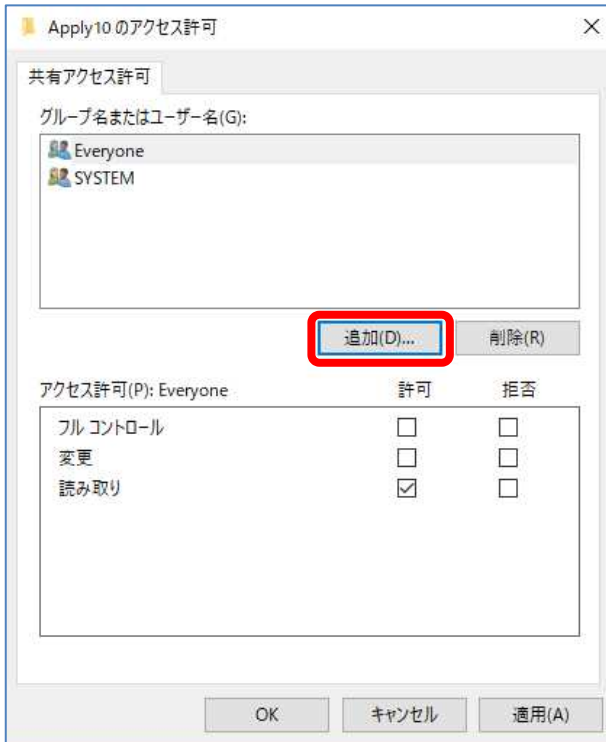
- (4) 『グループ名またはユーザー名』に {everyone} と {guest} がいない場合は、[追加] をクリックし、追加します。

※左の図では、{SYSTEM} がある状態で、{everyone} と {guest} はありません。{SYSTEM} のように最初から存在していたものはそのまま残しておいた状態にしてください。

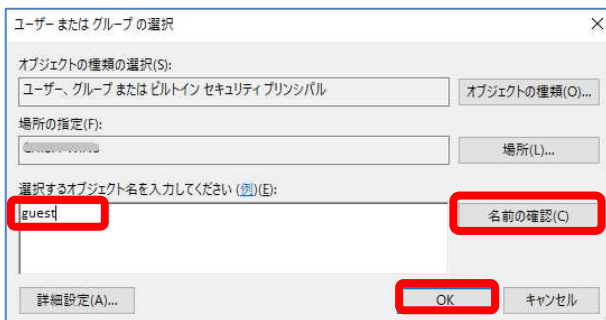
※最初から {everyone} と {guest} が存在する場合は (7) からの作業を行なってください。



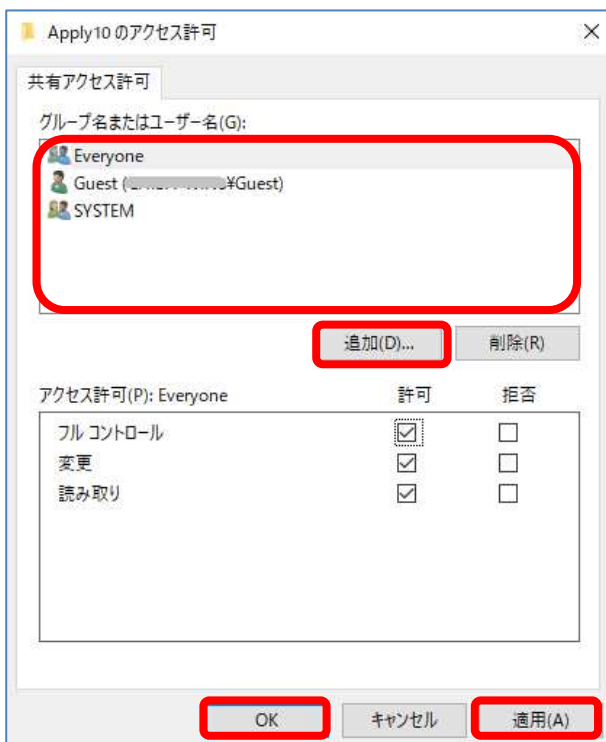
- (5) 『選択するオブジェクト名を入力してください』に『everyone』と入力し、[名前の確認] をクリックし、[OK] をクリックします。



(5) [追加] をクリックします。



(6) 『選択するオブジェクト名を入力してください』に『guest』と入力し、[名前の確認] をクリックし、[OK] をクリックします。



(7) 『グループ名またはユーザー名』にある『SYSTEM』や『Everyone』などを1つずつ選択し、全て『フルコントロール』にチェックを入れます。
[適用] をクリックし、[OK] をクリックします。



(8) [OK] をクリックします。

『追加作業』は以上です。

■子機のバックアップ設定

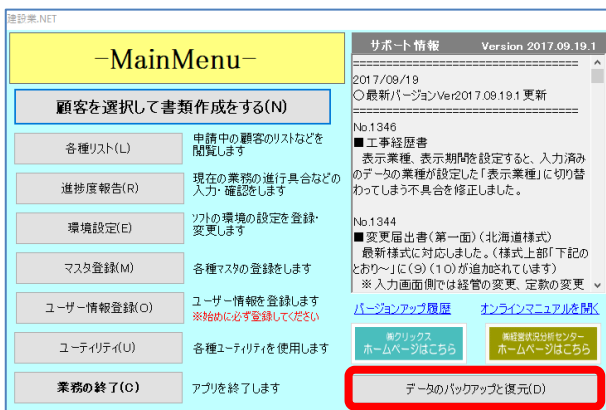
子機を起動すると、

「親機のバックアップフォルダが見つかりません。子機の場合は親機のバックアップフォルダを共有設定をした後に実行して下さい。親機でこのメッセージが表示される場合は、サポートセンターまでご連絡下さい。」のメッセージが表示されます。

【子機でバックアップを取らない場合の設定】か【子機でバックアップを取る場合の設定】のどちらかの設定を行なってください。

【子機でバックアップを取らない場合の設定】

親機でバックアップを取る事は可能です。



(1) 子機の [メインメニュー] の [データのバックアップと復元] をクリックします。



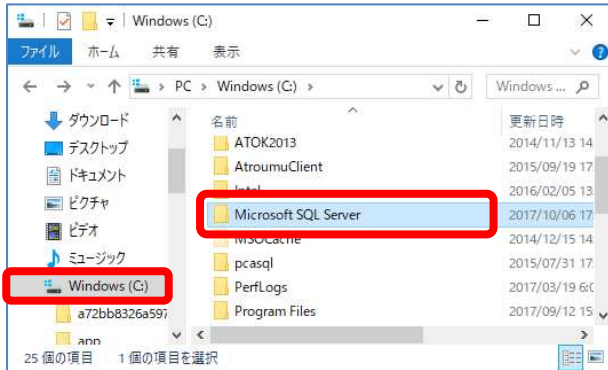
(2) データのバックアップ/復元メニュー画面が表示されます。

『定期的な自動バックアップ』を『しない』にチェックを入れます。

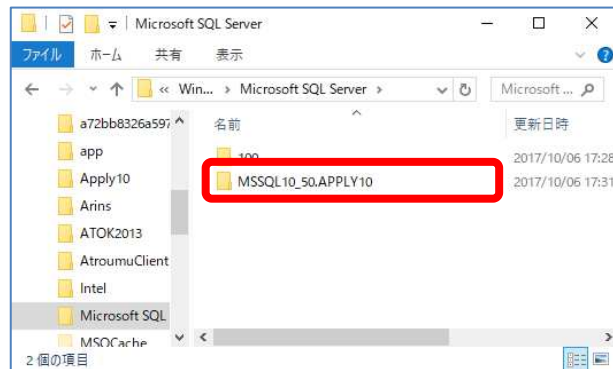
【子機でバックアップを取らない場合の設定】は以上です。

【子機でバックアップを取る場合の設定】

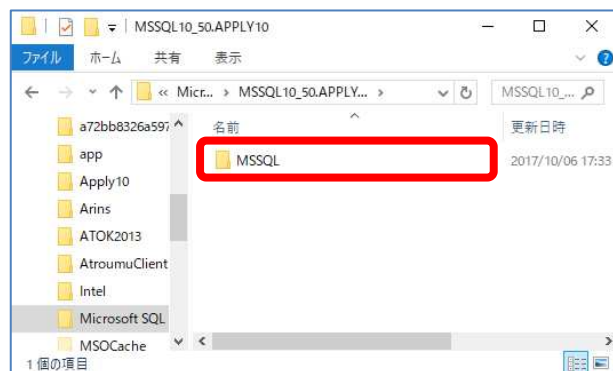
親機の「Cドライブ（Windows(C:))」の「Microsoft SQL Server」フォルダの「MSSQL10_50.APPLY10」フォルダの「MSSQL」フォルダの共有設定を行なってください。



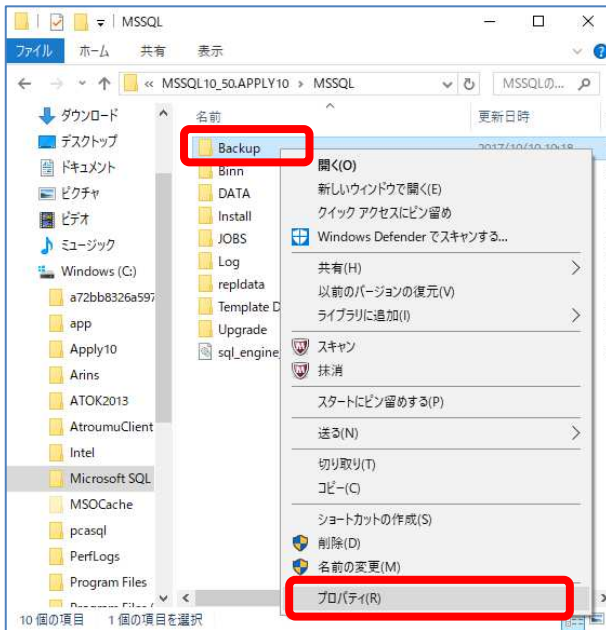
- (1) 親機のパソコンのエクスプローラーを立ち上げます。
「Cドライブ（Windows(C:))」の「Microsoft SQL Server」フォルダをクリックします。



- (2) 「MSSQL10_50.APPLY10」フォルダをクリックします。



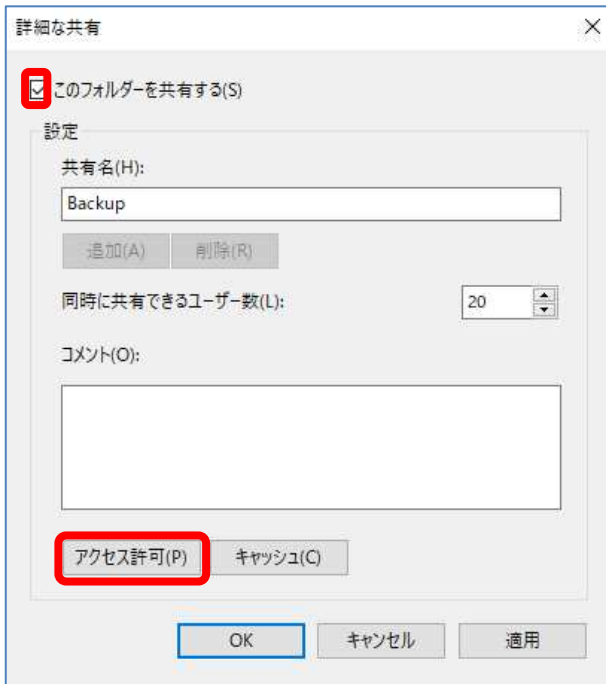
- (3) 「MSSQL」フォルダをクリックします。



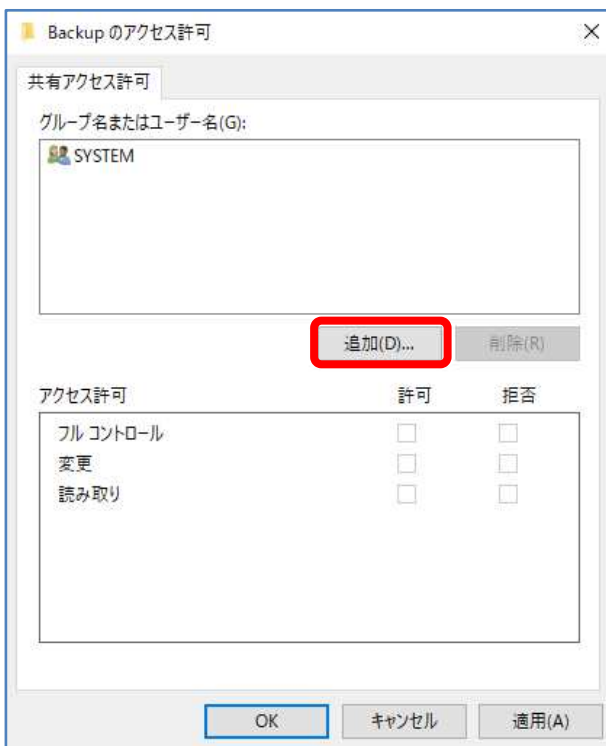
(4) 「Backup」フォルダの上で右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



(5) 「共有」タブを選択し、「詳細な共有」をクリックします。



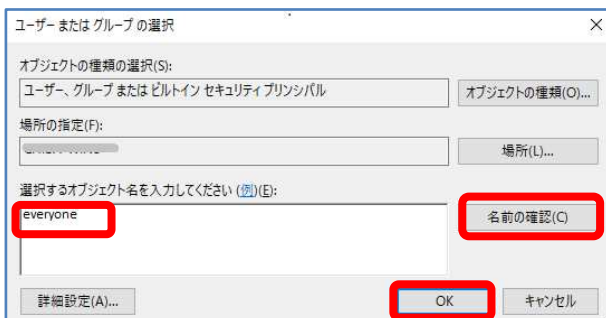
- (6) 『このフォルダを共有する』にチェックを付け、[アクセス許可] をクリックします。



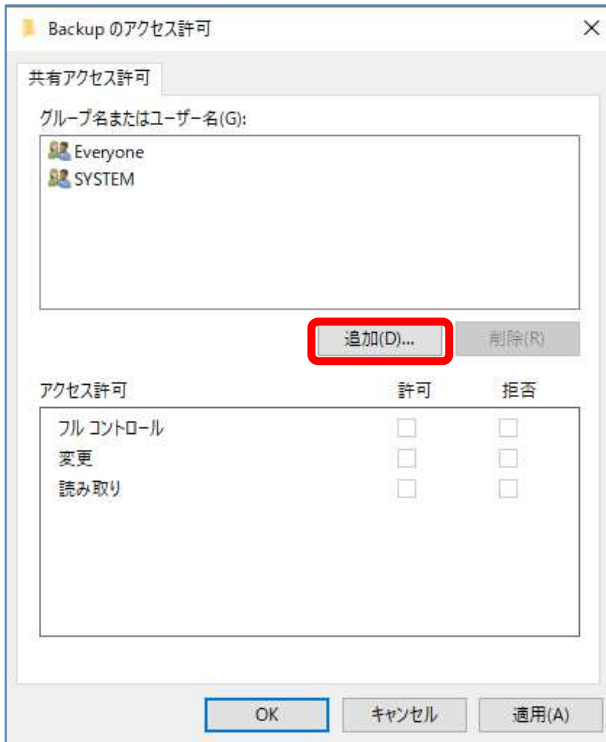
- (7) 『グループ名またはユーザー名』に {everyone} と {guest} がいない場合は、[追加] をクリックし、追加します。

※左の図では、{SYSTEM} がある状態で、{everyone} と {guest} はありません。{SYSTEM} のように最初から存在していたものはそのまま残しておいた状態にしてください。

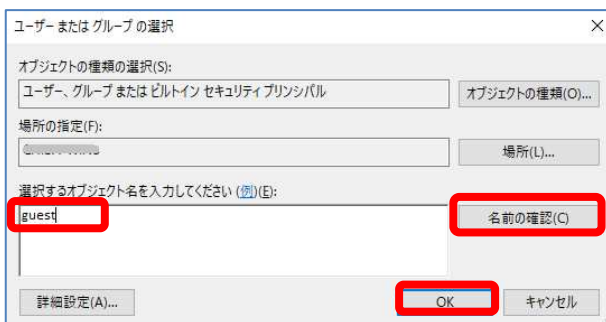
※最初から {everyone} と {guest} が存在する場合は(11)からの作業を行なってください。



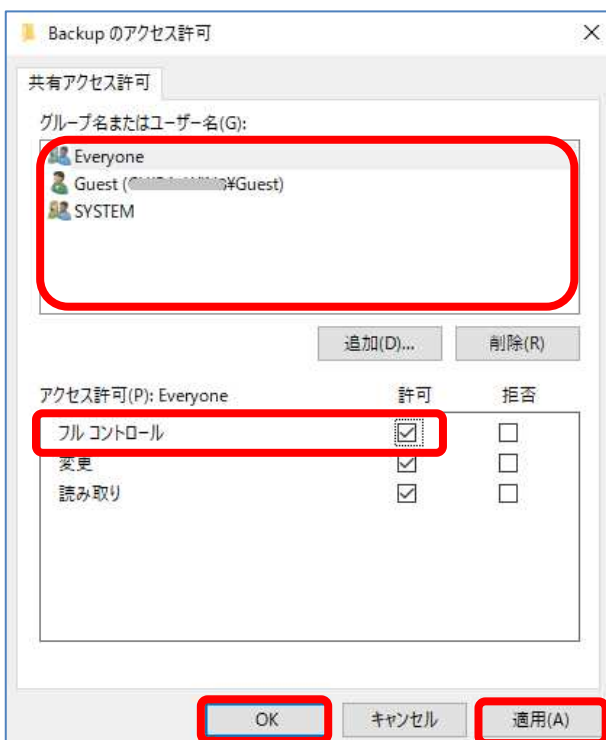
- (8) 『選択するオブジェクト名を入力してください』に『everyone』と入力し、[名前確認] をクリックし、[OK] をクリックします。



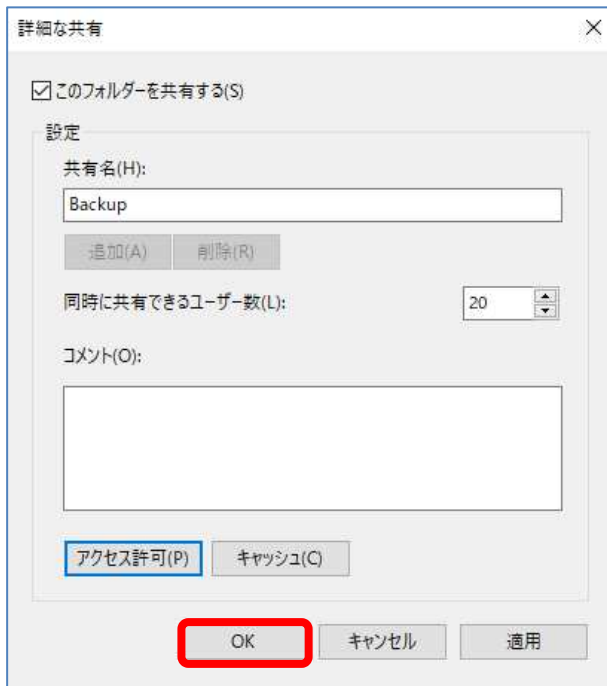
(9) [追加] をクリックします。



(10) 『選択するオブジェクト名を入力してください』に『guest』と入力し、[名前の確認] をクリックし、[OK] をクリックします。



(11) 『グループ名またはユーザー名』にある『SYSTEM』や『Everyone』などを1つずつ選択し、全て『フルコントロール』にチェックを入れます。
[適用] をクリックし、[OK] をクリックします。



(12) [OK] をクリックします。

【子機でバックアップを取る場合の設定】は以上です。